

# 「池田町政」その町づくり如何に 質問Ⅱ町課題解決に向け果敢に 答弁Ⅱ攻めの姿勢と本気度で



山岡 勉議員

今、どの自治体も少子高齢化や人口減、商店街や中山間地域の寂れなど多くの課題を抱えている。諸課題の克服に向け攻めの姿勢で取り組むべきだ。

池田町長

職員と共に本気度をもって、攻めと守りのバランスを取りながら、住民福祉の増進に向け最大の効果を目指して施策・事業に取り組んでいく。

## 公約とその進捗は

山岡議員

先の町長選挙で掲げた公

約の進捗は。  
今後へ向けては。

池田町長

道半ばではあるが、本庁舎の総合案内や第2子以降の保育料を無料化した。  
また、平成29年から「町の未来を考える会」を、本川・吾北・伊野地区で開催し、住民の生の声を聞くことができた。  
これも、今後の町政運営に向けて道標になると考えている。  
今後も公約実現に邁進していく。



本川総合支所

## 生活相談窓口の 設置を

山岡議員

地方は景気回復を実感できる状況にはなく、多くの困難を抱える人も少なくない。

各種税の滞納は「住民からのSOS」ととらえ、生活相談窓口を設置し行政も一緒に解決を図ることはできないか。

池田町長

現在のところ専用窓口としてはないが、各課室の連携で納税や生活困窮者の相談に対し、適切なアドバイスをを行うなど、各部署すべてが相談窓口となることを目指している。

## 財政調整的基金 果敢に有効活用を 平成18年度から 10年間で 約35億5000万円積み上げ

山岡議員

町の課題解決や町の活性化

化に資する施策・事業実施に向け果敢に有効活用を。

筒井総務課長

平成18年度から28年度末までに財政調整的基金が約35億5000万円増加している。  
将来を見据えたものでもあるが、子育て支援・南海トラフ地震対策・地方創生の推進など喫緊の課題に向き合い、今後は住民サービスの維持・充実に係る財源として検討するなど、有効に活用していきたい。

## 住宅リフォーム助成事業を 質問Ⅱ町活性化の息吹を興せ 答弁Ⅱ一定の効果か（懸念も）

山岡議員

三たび提言する。

この助成事業は、幅広い町内業者の仕事づくり、住民の生活環境の向上を図るもの。

何よりも経済波及効果が期待できる。

財政調整的基金を有効活用して、町活性化の息吹を興せ。

池田町長

この助成事業は、町内中小業者を支援する施策で、一定の経済活性化や生活環境の向上に寄与すると思うが、事業実施後の効果の持続性や住宅を所有していない人との格差の拡大も懸念される。  
引き続き検討したい。



窓口業務